



ひだまり

目次

散歩道	1
さくら千手園	2
音楽サークル	2
フライングディスク	2
千手園日記	3
木の宮学園	4
年忘れ会	4
木の宮日記	5
サポート(ボランティア紹介)	6
アプローチ	
地域療育等支援事業(その2)	7
情報フラッシュ	8

さくら千手園 佐倉市青香1019 043-462-2008

木の宮学園 佐倉市青香1051 043-463-1008
レインボー 佐倉市青香1051 043-463-1128



さくら千手園 餅つき会

散歩道

― 新年を祝い幸せを祈る ―

年始めの行事餅つき大会は、木の宮学園が正月十二日に成人のお祝いを兼ねて、さくら千手園が十五日に還暦を迎えた方の熟年お祝いと題して、多数の保護者をお招きして行われた。

餅つきを行い準備万全。食事前のセレモニーはお祝いの言葉とプレゼント。その後『餅を喉に詰まらせないよう一気喰いしないでゆっくり食べて下さい』とのお願い。お待兼ねの昼食タイム。あんにごまにからみにお雑煮、『どれにしようかな』と迷ってしまい選ぶのが大変。一通り全部食べてから『お替り』。付合わせは農耕班で作った大根の漬物、『とてもおいしかった』。すべてを平らげ『もう食べれない』と満足げな笑顔がとても印象的。漬物も即日完売で売上げ増収。何事もなく平穏な新年で一安心。

今年も健康で明るい幸せな生活が過ぎますように
天馬に祈る。



さくら千手園

音楽サークル

「ドン・ドン・ドン」今日も打楽器の音色が園舎にこだまします。額に汗をにじませSさんがドラムをたたき始めました。おや、今度はきれいなベルの音が、Nさんが真剣な表情でハンドベルの演奏です。

今日は、音楽サークルです。毎週1回から2回程度実施されています。楽器はドラム・エレキギター・キーボード・ハンドベル・タンバリン等を演奏します。特にどのように演奏しようという決まりは全くなく利用者の感性に任せて演奏しています。なので気軽にどんな利用者でも参加する事ができます。例えばTさん、何やら園舎のどこかで音がするのに気が付きました。「私、おフロまで少し時間があるからチョットのぞいてみましょう。」興味にひかれTさんが来ました。「あら、チョット雑音みただけど楽しそうだわ。美谷の為にちよっ



発表会にて

とドラムをたたきましよう。」いつの間にかTさんは入浴を忘れドラムをたたき続けていました。今後は年に一度行われる「さわやか芸能発表会」に参加できればと思っています。それでは一句。

千手園 いつか追い越せ

チェッカーズ

(大内)

フライングディスク大会に参加して

平成13年11月29日、第8回千葉県知的障害者フライングディスク大会が千葉県総合運動場で開催されました。

さくら千手園からは、利用者7名(男性3名、女性4名)が参加しています。

大会を目指して園の庭を使ってフライングディスクの練習を数ヶ月重ねてきました。参加者の中には以前の大会でメダルを獲得した喜びからか、熱心に練習をした方、メダルを取り損ねて、今度こそはと意気込む方と、それぞれの想いを抱えての参加となりました。

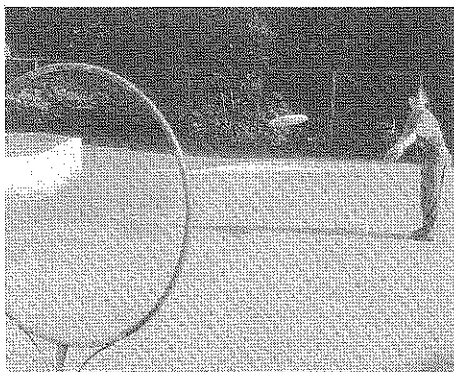
会場に着くと、大勢の参加者と規模の大きさに少し圧倒されましたが、競技をする時には自信を持って堂々としていました。一投ずつしっかり飛ばす方、緊張しながらも落ち着いて飛ばす方、余裕でマイペースに飛ばす方とそれぞれでした。良い結果の時は手を高く挙げて、とても嬉しそうに笑い、スタンド席にアピールしている場面もありました。思うような結果が得られず苦笑いをしている

人も、感想を聞くと、「とても楽しかったよ。」と満足そうに答えて下さいました。

当日は、風が少し悪条件だったのですが、3名の方が素晴らしいことに、メダルを獲得することが出来ました。名前を呼ばれて表彰台に上がる時は、最高の笑顔でとても嬉しそうでした。園に帰った後も「メダルももらったよ。」と得意そうに自慢していました。

参加メンバー全員が日頃の練習の成果を大会に出すことが出来たようで、それぞれが充実した表情だったのが印象的な大会だったと思います。

(保永)



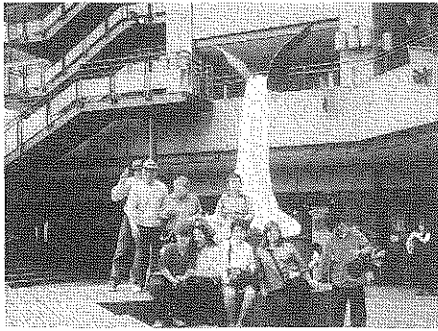
練習風景



千手園則記

食へ方それぞれ

♪横浜たそがれホテルの……♪そんな歌を思い浮かべながら出発です。今回の旅行はおいしい物を沢山食べ、買物を満喫することが目的です。電車の中では何食べようか、何買おうかの声ばかりで、職員も利用者も色気はまったくない様子でした。そんな話をしながら丁度お腹が減ったころ、ラーメン博物館に到着。中に入ると昔風のラーメン屋台があちこちにあり、皆好みの店を見つけてラーメンをすすります。ゆっくり味わいながら食べる人、汗をかきながら一心不乱に食べる人、食べ方はそれぞれですが皆とても満足そうでした。お腹が一杯になると次は買物。普段より中身の多い財布を持ち真剣に品定めをしています。こんな調子で3日間、中華街やコスモワールドを回り沢山のおみやげとお腹には沢山の脂肪をつけ楽しい旅行は終わりました。帰って体重計にのるのがとても怖い気はしましたがこれはケセラセラ。また皆で行きましょう。(山本)



長野癒し系

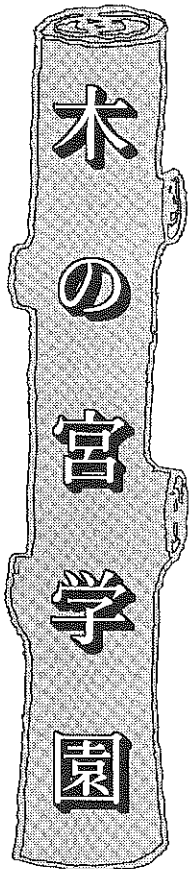
11月14日〜16日まで、寒い寒い長野に行ってきました。一日目、新幹線「あさま」に乗りました。窓から見える景色はビルの森から序々に紅葉の美しい森へと変わり山々が押し寄せるように目に飛び込んで来ました。電車を乗り継ぎ宿に着く頃には、なんだか皆さん疲れた様子。冷えて疲れた体を癒してくれたのはあたたかい温泉でした。皆さんもニコニコと気持ち良さそうにお湯につかっています。二日目は善光寺に行きました。相変わらず寒さは身にしみましたが、名物の「おやき」を食べたりお土産を買ったり皆さんご満悦の表情。宿に帰ればやはり温泉／＼あぁなんて気持ちが良いのです。豪華な夕食をおなか一杯食べればまさに至福のとき。最終日、上田城祉公園に行きました。地元の人が「紅葉は終わりの方だね。」などと言っていました。とんでもない。もみじは真赤に色づき、黄色いイチョウははらりと舞い落ち、アスファルトを埋めつくしており素晴らしいものでした。美味しい食事に綺麗な紅葉、そして温泉と身も心も温まる楽しい旅でした。(小林)



USJ

新幹線で3時間、やって来ました大阪へ。まずは船に乗り海遊館へ……。最初に迎えてくれたのは3mあるジンベイザメです。ガラスの向こうと知ってはいても目の前を通ると背中が「ゾクゾク」。イルカ、ラッコ、ペンギンに「かわいいね」「おもしろいね」と時は過ぎ初日終了です。2日目はいよいよ「ユニバーサルスタジオ」へ……。クリスマスデコレーションされたUSAの街並が私達を迎えてくれました。「わあきれい」と皆さんの笑顔!!クリスマスソングが流れる中いざアトラクションへ。「ジョーズ」「ターミネーター」etc……。その迫力に大興奮。叫ぶ人、笑う人、泣く人と園では見られぬ皆さんの表情に「ハラハラドキドキ」でさらに大興奮でした。輝く巨大ツリーを見つめる皆さんの笑顔はとても素敵でした。そして、夜の大阪の街を歩いて歩いてやっと見つけたお店のお好焼きは本当に美味しかったね。楽しくて、笑顔いっぱい3日間でした。(大谷)





第4回 年忘れ会

12月27日、この日はみんなが楽しみにしていた『第4回千手会年忘れ会』です。開始はまだ30分も先だというのに、会場の前では大勢の人が今か今かと待っています。「まだかな?」「今年はどうな料理かな?」「今年はどうな料理想い?」とみんな待ちきれない様子。

扉が開き、いよいよ年忘れ会の始まりです。1年間千手会を支えてくれたボランティアの方々に、さくら千手園・木の宮学園の利用者代表の方から「今年は色々ありがとうございました。来年もたくさん遊びに来てください」とお礼の言葉を贈りました。

その後は皆さんお待ちかね、超豪華なバイキングで立食パーティーです。昨年より量も品数も増え参加した皆さんも目が輝いています。普段小食なNさんもこの日はやはり「おいしいね」を連発しながらお腹いっぱい食べています。T

さんやKさんも色とりどりの料理に目移りしている様子。みんなお腹いっぱいになったところできいよお楽しみ、ビデオ上映や恒例となった利用者・職員のアトラクションです。今年も「みんなが参加し、みんなで盛り上がる」をテーマに企画を立てました。さくら千手園はハンドベルで『世界の歌姫、エンヤ』の「オンリータイム」の演奏です。とても澄んだ音色で会場の人々もみんな聞き惚れてうっとりとしています。

木の宮学園はミュージカル『夢のとびら』。歌ありダンスありで会場の人も思わず一緒に踊りだし、大盛り上がりです。ステーションでは「今年1年を振り返って...」というテーマで笑点を行いました。公私に渡って職員がこの1年の『悲しい時』を披露し、笑いでアトラクションも締めくくり、最後

千手園アトラクション

立食風景



立食風景

木の宮アトラクション

にくじ引き大会でお土産もたくさんもらって大満足の年忘れ会でした。
「来年もみんなにとって夢と希望がたくさんある年となりますように...」 (新井)





木の宮日記



10月11・12日の日程で

銚子方面へグループ旅行に出かけて来ました。前日に台風の影響で延期が心配されましたが、当日は利用者の願いが天に届いたのか晴天に恵まれました。まず一行は昼食を近くのパファミリーレストランで摂った後、犬吠埼の宿泊施設へ向かいました。ホテルに着いてからは利用者が楽しみにしていたクアハウス内にある様々な風呂で歓声を上げながら大いに楽しんできました。二日目は、近くに建つ犬吠埼灯台へ行き九十九段もある階段を息を切らせながら登り、一望できる太平洋の景色を楽しみました。この時だけは利用者の方もあまりの絶景に言葉が失いました。

絶景 太平洋

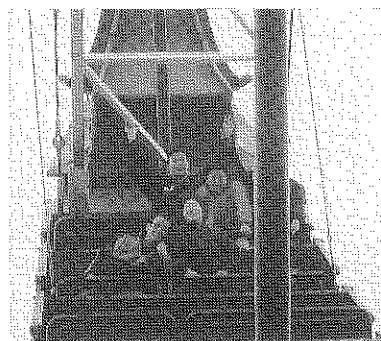


その後は、利用者のたつての希望もあり、太平洋の一番東を走っている銚子電鉄で外川から犬吠埼までわずか二駅だけではありませんがのどかな電車旅も体験してきました。帰りのワゴン車内では、利用者の方が旅行の話で盛り上がっていました。又来年更に楽しめるプランを計画したいと思います。

(山田)

未来の夢空間

11月15～16日に八景島シーパラダイスへ旅行に出かけました。八景島までの車中、期待でいっぱいの様子で皆うれしそうです。ドキドキワクワクの体験アトラクション島、シーパラダイス。島のあちこ



ちにスリルと感動を感じているようでした。ブルーフォールは、107mからの落下体験、ビルから飛び降りたような(?)驚き。海に突っ込んでしまいうような気分させるサーフコースター。荒波に大航海する海賊船。選びきれない数の乗り物に迷いながら、二度も挑戦した方もいました。未来の夢空間を満喫し、幸せそうな笑顔。バイキングの昼食、豪華でおいしかった夕食も満足そうでした。翌日が心配になるほど夜は興奮し、なかなか寝つかれない様子。翌日は、水族館でイルカショーを見学。愉快的パフォーマンスに喚声と拍手。イルカの演技に脱帽。いつもと違った表情を見つけ「楽しい思い出を」の願いが通じたうれしい充実した旅行でした。

『新年スタート』

1月12日(出)に、餅つき会・新年会・成人を祝う会が開催されました。餅つきを楽しむ為、外に出店式を考えたということもあり、寒さ等の天候も心配されましたが、風ひとつない驚くほどの良い天気にも恵まれました。餅つきを前に、外で開会式がスタート。利用者やお父さんにも餅をついてもらい、新しく出した「ごま砂糖」も大好評でした。アトラクションとして「でっかい宇宙に愛がある」(モーニング娘。)の手話を皆で行いました。その後は、新年会・成人を祝う会へ。今年成人を迎えたのはKさんとOさん。スーツに装い、ちょこっと緊張ぎみ。皆からも花束・お祝いの言葉をたくさんもらっていました。20歳に

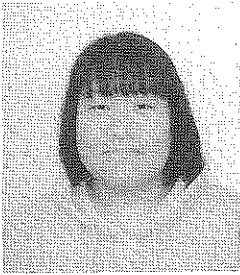


なったらなにをするのかなあ。二人でお酒を飲みに行く話をしていたよね。今年最初の行事も良いスタート。今年も木の宮学園にとって、良い年でありますように。

(保谷)

(岡本)

サポ = ト



東京成徳大学
石川 絵美

共にも楽しい時間を過ごすことでもあります。これからの、様々な機会でお世話になることとありますが、どうぞよろしくお願ひします。



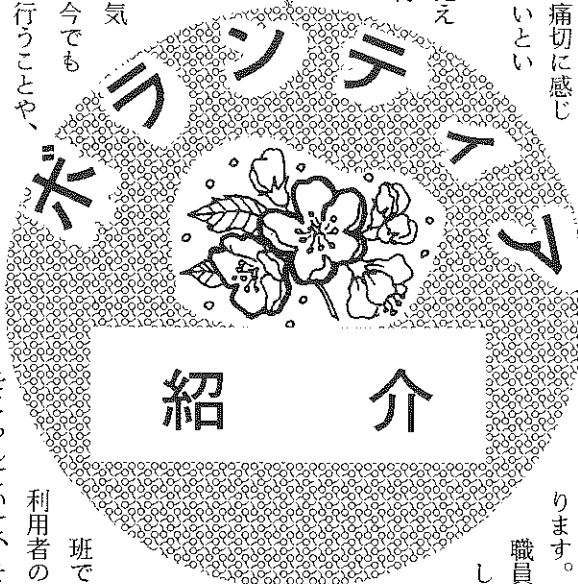
大山 杏子

私は、千手園でボランティアとして、利用者の方々と一緒に作業などをしていて大山と申します。私自身、こうして障害者の方々と身近で接する機会が今まであまりなかったため、想像していたのとは全然違う世界に驚きが多々ありました。

利用者の方々は顔が一人一人違うように、その個性もそれぞれ自分のものを持っています。だから、彼らが何を考えているのか、うまくコミュニケーションをそれぞれと取っていくのが大切だと痛切に感じています。出来るだけ多くの利用者と話したりしたいといつも思っています。

利用者の方々と接することによって、私は目に見えない、そしてお金では買えない大切な「何か」を得ている気がします。その事が私にとっては一番嬉しいことです。

木の宮学園で初めてボランティアをさせて頂いたのは昨年の六月でした。不安な気持ちを抱き、そして緊張した面持ちでの訪問でした。すると、あんな利用者の方が「おはようございます」と笑顔で元気良く声をかけてくださいました。その時の嬉しさは今でも覚えています。その後、作業・グループ活動などを行うことや、いろいろな話をする中で、利用者の方の中に溶け込んでいくことができてきたと思います。わたしにとって木の宮学園でのボランティアは、勉強させて



紹介

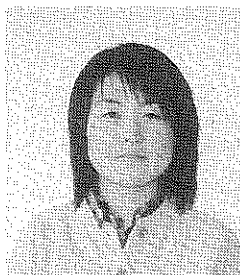
私がこの「千手園」でボランティアをお願ひしたのは、就職を考えるこの時期に現場の感覚を忘れたくなかったということとボランティアという貴重な経験を通して、肌で利用者の方たちと関わりたかったということから始まりました。

学校や就職活動もあり、ボランティアとして施設を訪問する機会は、決して多いものではありませんが、それでも利用者の方たちと過ごす時間は、とても楽しく学ぶこともたくさんあります。

職員の方たちとは違うボランティアとしての仕事。しかし、そこには、責任も使命もあります。このような中で自分には何が出来るのか、今だに手探りや試みの中で行っています。ご迷惑をおかけしながら、このような私を施設に迎えていただいたこと。この場を借りてお礼を申し上げます。

私は、東京成徳大学福祉心理学科四年の上原純子です。さくら千手園で夏まつりのときからボランティアをさせていただいています。

午前中の作業、午後の活動に参加し、作業では園芸班でハーブの苗作りのお手伝いをさせていただきました。利用者の方が作業しやすいように職員の方たちで道具に工夫をこらして、それを見てとても勉強になりました。活動では、ボーリングに参加したのですが、思い思いにゲームを楽しむ利用者の方たちと一緒に私も楽しむことができました。また、ゲーム後の帰りに見られた利用者の方々の生き生きとした表情はとても印象的でした。



東京成徳大学
上原 純子



東京成徳大学
堀口 妙子

Approach

アプローチ=接近する・研究方法

地域療育等支援事業(その2)

コーディネーター

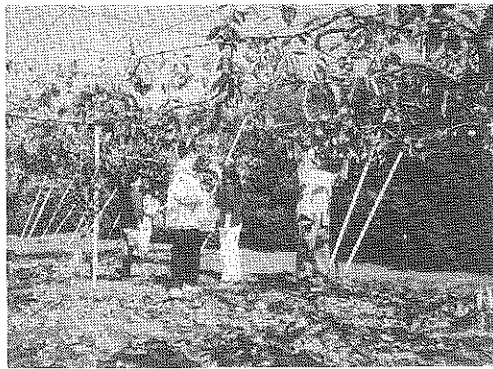
小宮 新一

支援事業がスタートして4ヶ月が経ちました。様々な相談に応じてきましたが、学齢期の障害児を持つ保護者の声に耳を傾けると、いろんな問題に気づかれます。子どもの障害の状況や家庭内の問題による個別の悩みもあると思いますが、多くの保護者に共通した日常生活の負担として、毎日の学校への送迎、緊急時に預かってくれる場所や夏休みなど長期休暇中に子どもの活動の場がないということです。学校が長期の休みになると、生活のリズムを崩してしまう子どもも多いようです。近隣の友達同士で遊ぶことも少ないでしょうし、家庭においても母子で過ごす時間が大半を占めるようになりがちです。外出も毎日というわけにもいきません。本人が安心して活動できる

場と母親の休息が必要です。地域には千葉県内で初の障害児学童に取組まれているNPO法人や様々な民間団体も少しずつ増え、地域生活を支える社会資源は徐々に整備されつつある状況です。昨年の夏、木の宮学園のミニデイサービスがパンク寸前の状況となりました。定員5名のところ10名以上となる日ができました。スペースや職員の人員配置も厳しい状態でしたので、一部の方には同法人入所施設で日帰りショートとして利用していただきました。日中活動のみの参加でしたが、毎日家庭で過ごしているよりは、本人も保護者もリフレッシュできたのではないのでしょうか。

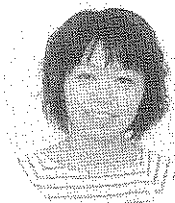
支援センターでは、毎月一回週末にイベントを開催しています。地域の在宅の方に呼びかけ毎回10名位の参加があり、とても楽しく過ごしています。新年度より学校も完全週休二日制になります。イベントは週末の余暇活動支援として位置づけ、新年度からは回数も増やしていく計画です。

これからいろんなことを考え行っていくと思いますが、一施設での取り組みでは多様のニーズに答えることはできないと思います。しかし現実には必要とされているサービスが地域の中に存在しない以上、まず委託施設ができることから取り組んでいくことも重要だと思います。最初は限られたニーズに配慮することしかできませんが、一つの積み重ねがやがては行政や地域の関係機関を動かし、地域でのネットワーク作りの第一歩になることも考えられます。何か良いアイデアや情報がありましたら、お知らせ下さい。地域の皆さんと共にこの支援事業を進めて参りたいと思います。



休日イベント「柿狩り」

スタッフ紹介



臨床心理士
坂本葉子

はじめまして、坂本葉子です。現在、子どもの発達に関する相談・援助や中学校でスクールカウンセラーの仕事をしています。趣味はテニス、ピアノです。最近、「臨床心理士」や「カウンセラー」といった名称で広く知られるようになってきました。実際には「カウンセリングって何だろう?」などとお思いの方も少なくないと思います。ですが決して特別なことや難しい話ではありませんので、関心を持たれた方はぜひご利用下さい。気持ちが重かったり、行き詰まった時に気軽にお越し頂ければ幸いです。よろしくお願いいたします。

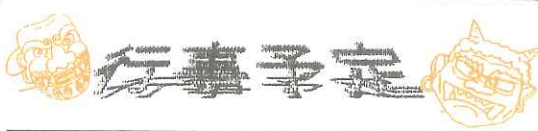
「ご寄付に感謝いたします」

年忘れ会にご支援・ご参加いただき
ました皆様。 植松信子様
佐藤習子教室信書会様
観音寺安田芳照様
井野南納税組合様
佐倉市社会福祉協議会様

保護者会バザーのお礼

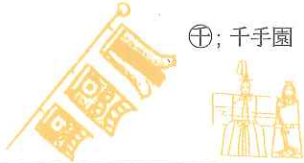
今年度の保護者会のバザーは三
回実施しました。「学園祭」と
「福祉まつり」そして「年忘れ会」
です。三回のバザーに手作り品を
出品しました。手作り品は毎月バ
ザー委員五人がエプロンやブロー

チ、袋などを製作し、バザーに備
えました。地道な努力の結果すば
らしい作品が出来上がりました。
そのおかげで、バザーの時はたく
さんの方に喜んで買ってもらいま
した。献品についても、保護者の
方をはじめ、地域の皆様の御協力
をいただきました。更に、毎年大
根を寄付してくださる農家の方や、
その大根を一生懸命販売までして
くださった保護者の方々。この様
にバザーの売上を少しでも増やそ
うと、多勢の方々が協力してくだ
さいました。誠にありがとうございます。
ここにお礼を申し上げます。
(木の宮学園保護者会)



2 月	14~15日 ニード別旅行 (いわき)	⊕
	22日 ニード別外出	⊕
3 月	7~8日 グループ旅行	⊕
	12~13日 ボランティア講座	⊕
	14日 作業班別一日外出	⊕
4 月	10日 ハイキング	⊕
	17~19日 ニード別旅行 (ディズニーリゾート)	⊕
5 月	22~24日 ニード別旅行 (電車・S L)	⊕
	24日 ニード別外出	⊕

⊕; 千手園 ⊕; 木の宮学園



わたしたちの作品(クッキー班)
— 新作紹介 —



「国産小麦、新鮮卵、高級バター」
を原材料とし、おいしいクッキー
を十二種類作っています。以前三
号で紹介した時から増えた種類と
しては、さくら、ホワイトチョコ
ナッツ、ブルーベリー、キャラメ
ル、メイプルがあります。どの新
作も出来るまでに何度も失敗
を繰り返して試食を何人にもして
らい製品となっています。例え
ば、メイプルクッキー。砂糖を一
切使わずメイプルで甘みを出して
いますが、メイプルシロップのみ
では焼き上がると風味が飛んでし
まい、ただのプレーンクッキーに

よろしくお祈いします

。鈴木 広美さん(千手園介助員)
一月一日より第三者委員の変更が
ありました。

深井 寿満子さん 退任
吉田 朝子さん 就任

編集後記

明けましておめでとうございま
す。巳年から馬年になり、小泉首
相親子は年男だそうです。ついで
ながら私も年女になります。

さて、昨年10月から始まった地
域療育等支援事業やボランティア
育成も順調に進展しています。こ
れからも地域で生活する障害児者
が、その人らしく個性を出して生
きていけるよう支援を行い、この
広報誌を通じてお伝えしたいと考
えていますので、今年だけでなく
これからも末永くよろしくお祈い
致します。
(小川)